

(理念) だれもがその人らしく住み慣れた地域で、いきいきと安心して暮らせるまちをめざす

市民
インフォーマル支援者・団体等

小地域福祉ブロック会議

- 小学校区内の地域住民代表や各種福祉諸活動関係者等による「小地域福祉ブロック会議」を構成
- 地域課題に対するネットワーク活用による地域づくりのための具体的活動

① 認知症理解を広めたい

経緯：マンションやスーパーでのトラブルがあった
取組み：住民向けには小ブロックで企画・実施
期待：事業所向け周知への取組み

② 相談窓口の周知をするために

経緯：マンションやスーパーでのトラブルがあった
取組み：マンション管理人、住人向け相談先一覧を作成し配布、掲示
期待：より多くの地域での見守り支援者に相談窓口を知ってもらいたい

災害に備えての地域での取り組み
(小ブロックより小さい単位で取組を考えたい)

中学校区福祉ネットワーク会議

- 各小地域福祉ブロック会議代表者と各種専門機関の中学校区代表者で構成する「福祉ネットワーク会議」を構成
- 「福祉ネットワーク会議」では生活圏域における課題の共有、検討、集約を実施
- 高齢者生活支援センターが主催する「地域ケア会議」障害福祉課が主催する「自立支援協議会実務者会」、子育て推進課が主催する「要保護児童対策地域協議会個別ケース検討会議」と連動

① 認知症理解を事業所に広めるためにはどうすればよいか

内容：認知症の方の周囲、特に複数の目での見守りが必要
さらに講座を開催する、バージョンアップ講座等も必要

② 相談窓口の周知のためにどうしたらよいか

内容：友人が民生委員に相談し、支援センターにつながった
ごみ屋敷を発見しても相談先がわからない

③ 相談窓口(専門職)の困りごとを共有し住民で協力できることはないか

内容：生活物品等ゆずりあいネットワークをつくれな
環境処理センターとの連携、施設のバザーや空き家の活用

- 見守りネットワークの充実
- 住民同士のかかわりと誘い出し
(小ブロックで考えたい)

- 高齢者生活支援センター
- 社会福祉協議会(生活困窮者自立支援制度)

地域ケアアシストシステム検討委員会

- 会議間のコーディネート機能
- 所属機関の業務への反映、施策化の検討
- ネットワーク全体の会議の進捗管理と評価

① 認知症理解を事業所に広めるための方法

内容：具体的対象を考える(公共交通機関、商店、接客業の方)
つながった事例抽出、各会議体でサポートできること

② 相談窓口の周知のための方法

内容：地域のニーズ把握が必要ではないか、教職員向けや見守り地域支援者それぞれでニーズが違うのでは、口コミで広がるのではないか

③ 生活物品等ゆずりあいネットワークをつくるための方法

内容：もの、カネ、情報、流れを考える、実施主体をどうするか、期限付き・モデル的に実施検討してはどうか

芦屋市地域福祉推進協議会

- 医療・保健・福祉の総合調整
- システム全体の運営における基本方針協議
- 福祉施策への反映を協議

① 認知症理解を事業所に広めるために工夫できることは

② 相談窓口の周知で協力してもらえることは

③ 生活物品等ゆずりあいネットワークに加わる人や団体を増やすためのアイデアは